



山本よしかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

原発事故で農畜産物価格下落

「信義をもつて県政に」との言葉を胸に、山本義一県議(八街市選出、2期)はだれもが安心して住めるふるさとづくりに全力を上げています。その情熱と行動力はだれもが認めるところで、八街市民の期待はますます大きくなっ

ています。9月県議会一般質問では原発事故による放射能の風評被害問題や酒々井インターチェンジ整備、エネルギー問題など多岐にわたって県の施策を質問しました。質疑の模様を特集します。

トップセールスで風評被害の解消を

森田知事に要望



パネルを掲げて県の取り組みを質問する山本義一県議

9月県議会一般質問 八街市特集

山本議員 冒頭に、台風12号と台風15号により亡くなられた方、行方不明者の方、被災に遭われた方々にご冥福とお見舞いを申し上げます。
東京電力福島第一原子力発電所の事故により、放出された放射能問題について最初にかがう。東日本大震災から7か月。震災の爪痕は深く、思うように地域再建がなされていない。一日も早い復興を願ってやまないが、政府の対応はあまりにも遅く、鈍かったと言うのが正直な感想だ。
県内観光にも震災の影響が出ている。7、8月に県内海水浴場を訪れた海水浴客は昨年比で半減した。原発事故の風評が原因と見られるが、その影響が、野菜価格の低下などを招いて

山本県議の県への要望

- ▶ 来年の一番茶の出荷制限の解除に向けて、今後とも、放射性セシウムの濃度を低減させる管理を茶園全体において行うために、定期的にお茶の放射性物質の検査を実施していただきたい。出荷制限が解除された事例などによると、葉の深刈りによる低減効果が高いと聞いている。講習会などによる県下全域の技術的指導をお願いしたい。
- ▶ 野菜などに、安全・安心を推奨する森田知事の似顔絵入りのシールを作ってください。消費の拡大や原発放射能による風評被害の解消を目的として、知事のトップセールスで千葉県産野菜などをPRしていただきたい。
- ▶ 落花生は千葉県の特産品であり、森田知事に是非、安全性のアピールをしていただきたい。知事の名前と顔を入れたポスターなどでPRをしていただきたい。

風評被害についても賠償手続きが始まる見込みだが、放射能による野菜、お茶、牛肉などの風評被害の補償に向けての取り組みはどうか。

知事 これまで県では国に対し、被害に対する万全の補償を強く要望するとともに、生産者に対しては、

8月の中間指針では、野菜、お茶、牛肉など全ての食用農林水産物が県全域で風評被害の補償対象とされ、現在、農産物と水産物について、JAGグループや県漁連を中心に賠償請求が行われており、また、お茶や肉牛についても賠償請求の準備が進められています。

なお、9月26日には、賠償請求にあたって、書類作成が生産者の負担とならないよう、請求書類の簡素化

子どもへの影響不安

やきめ細かい対応を国の責任において措置するよう、国へ求めたいところです。
今後とも、市町村や関係団体と連携し、被害を受けたすべての生産者が補償を受けられるよう支援を続けてまいります。

山本議員 今回の事故によって、放射性物質が長期間にわたり広範囲に拡散しているが、特に放射線への感受性が高いとされる子どもたちには、長期的に何らかの影響を及ぼす可能性は否定できず、乳幼児や児童生徒をはじめとする県民の不安が高まっている。

そこでかがうが、乳幼児や児童生徒への放射能の健康影響について、どのように考え、どのように対処しているか。

保健医療担当部長 低線量放射線の長期被曝による健康への影響については、過去に蓄積されたデータが乏しく、特に放射線への感受性が高いと言われる子どもには、長期的に何らかの影響を及ぼす可能性が否定できないことから、子どもの健康への影響の調査方法について国に対し早急に検討し、公表するように要望しているところです。

北総中央用水事業 工期内完成困難に

山本議員 県下でも有数の農業地帯への農業用水供給のために北総中央用水事業が進められている北総中央用水事業の進捗状況はどうか。

知事 平成22年度末までの進捗率は、事業費ベースで78・9パーセントとなっております。しかし、近年、国の関連予算が大幅に削減され、予定工期内の完成が大変困難な状況になっております。

八街市集

9月県議会一般質問
地域の連携で
創造的発展を

山本よしかず
県議

酒々井インターチェンジ

山本議員 (仮称) 酒々井インターチェンジの整備状況についてうかがう。酒々井インターチェンジが設置されると、北総地域住民の利便性向上、新規産業団地の整備や雇用の拡大などが期待され、重要な都市基盤になる。

東関道に24年度完成

平成17年度から事業が推進されているが、その酒々井インターチェンジの整備状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 (仮称) 酒々井インターチェンジについては、東関東自動車道の佐倉及び富里インターチェンジ周辺の交通混雑の緩和や、周辺地域の活性化などを図るため、整備を進めているところだ。

山本議員 北総地域住民の利便性の向上、成田空港周辺地域経済の活性化も期待されている圏央道の大塚から横芝間について、今後、県としてどのように取り組んでいくのか。

圏央道大塚ー横芝間
早期完成を国に働きかけ

山本議員 一筆ごとの土地について所有者や地番地目、地籍の調査と境界に関する測量を実施する地籍調査は、震災による被害の迅速な復旧活動のためにも必要。しかし、千葉県の実施状況は平成22年度末で進捗率13パーセントと全国平均を大きく下回っている。

今後、本県におきまして、事業実施中の市町村に対しては、事業の着実な推進が図られるよう、予算の確保に努めるとともに、未実施市町村に対しては、当事業のメリットである境界の復元、災害復旧の迅速化、公共事業の円滑化等についてしっかりと説明を行うなど、事業の着手について強力に働きかけてまいりたいと考えております。

用地取得し工事着手

部の掘削工事や橋梁工事及び、アクセス部の道路工事を実施しております。

今後とも、関係機関と連携を図り、平成24年度の完成に向け、事業の推進に努めてまいります。



自席で再質問する山本義一県議

要望

- 八街バイパスの全線区間の供用に向け、残る区間の整備に積極的に取り組むよう強く要望する。
- 国道409号と県道富里酒々井線、住野十字路の右折レーン設置に向けて事業計画をしていただき来年度の予算措置を要望する。
- 県道神門八街線の歩道整備を要望する。
- バイオマス発電については、新エネルギー活用プロジェクトの提案募集に多くの応募があり、今後の新エネルギーの取り組みに大変期待する。

重要な道路です。また、災害時においては、都心を迂回する代替(だいたい)路(ろ)としても大きな役割を果たすことを期待しているところです。

大塚から横芝間については、国において調査が進められていますが、ミッシングリンクを解消し、圏央道の整備効果を広域的に波及させるためには、この区間の整備を急ぐ必要があります。そこで、県としては、引き続き圏央道の必要性や緊急性を広くアピールしていくとともに、一日も早い完成が図られるよう、各種団体等と連携し、国などへ強く働きかけてまいりたいと考えております。

この地籍調査に今後、どのように取り組んでいくのか。県土整備部長 地籍調査については、全体的に地価が高く境界確定が難航することや、一筆毎の測量のため調査が長期化することなどから、実施率が低迷している状況にあります。

震災復旧に重要な地籍調査
県内進捗率わずか13%



旭市(飯岡漁港)の被災地視察

国道409号八街市
四木入口交差点
渋滞緩和へ改良工事

山本議員 国道409号八街市四木入口交差点の右折レーンの設置について、今後の予定はどうか。

一方、今回の東日本大震災では、被災地における迅速な復旧復興を図るうえでも官民境界の明確化など、地籍調査の重要性が改めて認識されたところであります。

山本よしかず

県議事務所

〒289-1115 八街市八街ほ244
TEL.043(440)7070
FAX.043(440)7030